

人と地球に優しい工法で
建物を雨水から守ります

防水工事 防食工事 塗床工事 塗装工事



西岡化建株式会社



環境省
エコアクション21
認証・登録番号 0007850



2017年度 環境活動レポート

対象期間 2016年9月21日～2017年9月20日 発行 2017年10月25日

弊社の取組を
ご覧ください



めりゆか れいこ
塗床 麗子さん

環境施工に
努めます



ぼうすい
防水 まもるくん



〜 経営理念 〜

一、技術の研鑽

私達は、研究開発精神にのっとり、優れた技術を提供し常にお客様の「ニーズ」に応える工事を遂行します。

一、環境の改善

私達は、製造現場における環境改善と、生活環境の向上を提言し、社会から信頼される企業を目指します。

一、より良い工事と共育ち

より良い工事をモットーに、西岡化建は共に働き、共に育ち、社会に貢献する事を目指します。

 西岡化建株式会社



もくじ

ごあいさつ	1
環境理念・環境方針	3
組織の概要と認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営システム	5
主な環境負荷の実績 環境目標・実績	6
環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	
■ 電力による二酸化炭素排出量の削減	7
■ 自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	8
■ 廃棄物排出量の削減	9
■ 水道水の削減	11
■ PRTR 物質使用量の削減	12
■ グリーン購入	13
■ 社会貢献	13
■ 工事施工上の環境配慮	14
環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反、訴訟等の有無	16
生物多様性の保全活動	17
環境施工事例	21
代表者による全体の評価と見直し	24



ごあいさつ

弊社は1975年創業以来、建設業専門工事業として防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事等の責任施工を手掛けて参りました。

改修工事部門におきましては、構造物の長寿命化をはかり更新時期の長期化により資源節約と更新に関わる工事の削減によりCO2の排出量削減に貢献できるものと考えております。

施工における原材料は特に省力化、省エネ、有害物質を含まない原材料で人やすべての環境にやさしい材料を使った工事や、メーカーとの協力のもとに改良や開発に注力しております。

施工法においては作業者の安全第一と近隣への安心安全を第一に工事に取り組んでおります。



代表取締役 西岡 勝男

2017年10月25日

西岡化建株式会社

代表取締役 西岡勝男



おかげさまで設立 40 期を迎えます

西岡化建のあゆみ

- 1975.10 ● 茨木市に西岡化建工業所 創業
- 1978.10 ● 法人組織に改め、資本金 200 万円にて会社設立
商号を西岡化建株式会社に変更
- 1982.3 ● 摂津営業所及び資材倉庫設置
- 1992.10 ● 資本金 1000 万円に増資
- 2002.3 ● 摂津営業所及び資材倉庫を茨木本社近隣に移転し、茨木事業所とする
- 2007.1 ● 新社屋完成
- 2011.11 ● 環境経営システム エコアクション 21 認証取得

エコアクション21
認証・登録番号 0007850
- 2015.3 ● 2号倉庫完成
- 2016.2 ● 第19回 環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞受賞
- 2016.3 ● 資本金 2000 万円に増資
- 2017.2 ● 第20回 環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞受賞

2017
優良賞
環境活動レポート部門
- 2017.5 ● 関東営業所を設置



環境理念

西岡化建株式会社は、本業である建設工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に全社員とともに自主的・積極的に取り組みます。

環境方針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力・燃料による二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 廃棄物の削減とリサイクルと適正処理を推進します。
4. 節水行動や作業改善で水使用量を削減します。
5. 水性材料の使用により、溶剤の使用量および揮発量の低減に努めます。
6. 特定化学物質を含有しない防水材の使用により、環境負荷低減への取り組みをします。
7. グリーン購入やグリーン調達に努力します。
8. 地域の環境活動（資源ごみ回収）に積極的に参加します。
9. 省エネ、エコに繋がる工法を提案し、活動に取り組みます。
10. この環境方針を全従業員に周知し、教育啓発活動を実践していきます。

制定日：2010年10月25日

改定日：2016年10月25日

代表取締役 西岡 勝男



組織の概要と認証・登録の対象組織・活動

組織の概要

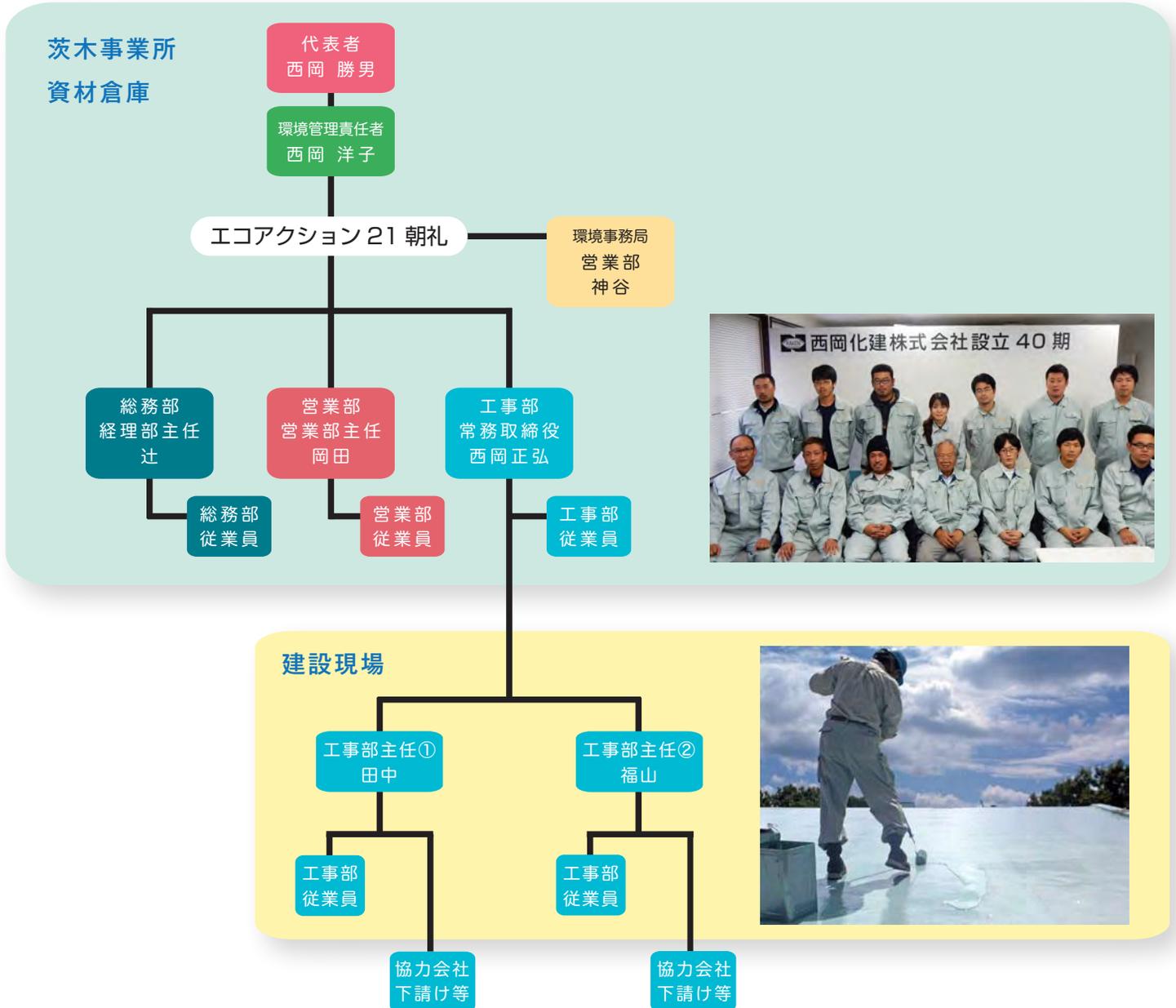
- (1) 事業者名 西岡化建株式会社
代表名 代表取締役 西岡 勝男
- (2) 所在地 本社 大阪府茨木市郡5丁目25番22号
茨木事業所 大阪府茨木市郡5丁目21番16号
資材倉庫 大阪府茨木市郡5丁目21番16号
関東営業所 神奈川県横浜市緑区新治町543-1 101号
(2017年8月1日から始動)
- (3) 環境管理責任者 専務取締役 西岡 洋子
環境事務局 営業部 神谷 真菜
連絡先 TEL 072-643-1125 FAX 072-643-1127
E-mail info@nishiokakaken.com
URL http://www.nishiokakaken.com
- (4) 事業内容 防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事
建設業許可番号：大阪府知事許可（般-28）第51113号
許可業種：建築工事業・防水工事業・塗装工事業・内装仕上工事業
- (5) 資本金 2,000万円
売上高 3億2,000万円
主要工事完成高 279件
- | | 茨木事業所 | 資材倉庫 | 合計 |
|------|-------|------|------|
| 従業員数 | 29人 | | 29人 |
| 延床面積 | 143㎡ | 132㎡ | 275㎡ |
- 男性25名女性4名 ※2017年9月20日時点
- (6) 事業年度 9月21日～翌年9月20日

認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名 西岡化建株式会社
茨木事業所
資材倉庫
- 対象外 本 社 (登記上の所在地であり、事業は行っていない為)
関東営業所 (2017年8月1日から始動)
- 活動 防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事



環境経営システム



事業所と現場の連携を大切にしていきたいとね！

特定化学物質、有害物質を含まない材料で、安心と安全の環境工事を実施します！



主な環境負荷の実績 環境目標・実績



主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	62,222	72,590	70,662
廃棄物排出量	t	68.47	90.83	68.64
一般廃棄物排出量	t	0.69	0.59	0.57
産業廃棄物排出量	t	67.77	90.24	68.07
水道水使用料	m ³	96	115	116
化学物質 (PRTR物質)	kg	8,023	4,849	3,476

電力の二酸化炭素排出量換算値 0.522 kg -CO2/kWh

※2016 年度から自動車燃料の集計方法を変更しました



環境目標・実績

項目	年度	基準値	2017年			2018年	2019年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	達成状況	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素総排出量 (CO2換算係数0.522)	kg-CO2	10,203	10,101	10,269	×	10,101	9,999
	基準年比	2016年	99%	101%		99%	98%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	61,647	61,031	59,845	○	61,031	60,414
	基準年比	2016年	99%	97%		99%	98%
ガソリン車 燃費評価	km/L	11.4	-	12.2	○	-	-
		2016年					
ディーゼル車 燃費評価	km/L	8.1	-	8.7	○	-	-
		2016年					
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	71,850	71,132	70,115	○	71,132	70,413
一般廃棄物の削減	kg	589	583	572	○	583	577
	基準年比	2016年	99%	97%		99%	98%
混合廃棄物の削減	t	87	86	68	○	86	85
	基準年比	2016年	99%	78%		99%	98%
水道水の削減	m ³	115	114	116	×	114	113
	基準年比	2016年	99%	101%		99%	98%
PRTR物質使用量の削減	kg	4,849	4,801	3,476	○	4,752	4,704
	基準年比	2016年	99%	72%		98%	97%
グリーン購入	%	43%	36%	54%	○	40%	42%
工事施工上の環境配慮 環境対応型防水材「ワンガード・ゼロ」の使用量	kg	66,780	67,448	57,276	×	67,448	68,116
	基準年比		101%	86%		101%	102%

※今年度から基準値の基準年度を2016年とする。

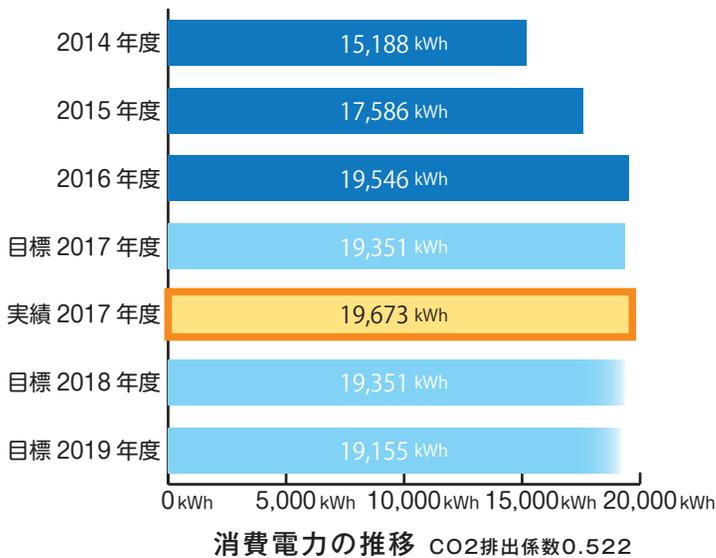
※LPG、灯油、廃油は少量のため目標としない。

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

電力による二酸化炭素排出量の削減

数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標10,101kg-CO2 ⇒実績10,269kg-CO2 目標99% ⇒実績101%	
取組計画	達成状況
・空調温度の適正化 (冷房28°C、暖房20°C) (事務所)	○
・不要照明の消灯 (事務所)	○
・ゴーヤの栽培 (事務所)	◎
・駐車場の植栽 (事務所)	◎



評価と次年度の取組内容

今年はなかなかできなかった遮熱塗装を暑くなる前にすることができ、それにより前年と比較すると一番暑い7,8月に電気代を抑えることができました。

また、12月に3台のエアコン掃除を業者にしてもらい、これまでのフィルターの掃除もこまめにしていましたが結果、風量もかなり改善し、節約することができました。

ゴーヤの栽培も継続し、今年は2階の窓面まで範囲を広げたので大きなグリーンカーテンができました。事務所建物、駐車場の周りにも植栽を設けており、水をやることで打ち水の役割も果たしているのも継続します。

(総務 辻)



4月に入社してすぐに事務所屋根と資材倉庫屋根を遮熱塗装しました。塗装の勉強になりました。2017年4月入社 工事部 木谷



遮熱塗装について詳しくは P23 ページへ



事務所2階から見た窓面



ゴーヤを植えて半月経過した様子です



8月グリーンカーテンの完成!



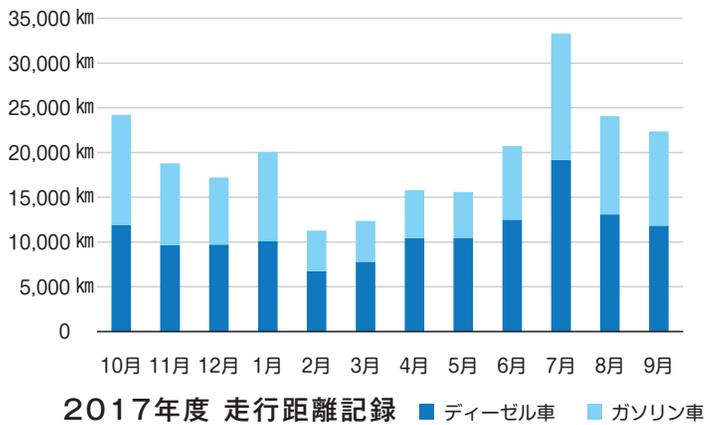
事務所1階から見た窓面

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標61,031kg-CO2 ⇒実績59,845kg-CO2 目標99% ⇒実績97%	
燃費評価 ガソリン車12.2km/ℓ ディーゼル車8.7km/ℓ	○
取組計画	達成状況
・アイドリングストップ（現場）	△
・効率的なルートでの移動（現場）	◎
・材料運搬の最小化（現場）	◎



関東営業所に電気自動車を導入しました

評価と 次年度の 取組内容

今期も遠方工事（愛知県、福井県、石川県など）が多くありましたが、出張工事になると毎日大阪から通う必要がないので、燃料の削減に繋がられたように思います。京都府、滋賀県、岐阜県方面の工事は、出張ではなく毎日100キロ超往復するケースが多かったので燃料の消費が大きくなりました。

現場によっては忘れ物や材料が急遽足りなくなった場合には、倉庫に取りに戻ることもごく稀にあることなので、朝の荷物積み込み段階では確認を怠らないよう努めてまいります。

また、11月に工事車の2台を廃車とし、1台は38万キロ以上、もう1台は22万キロ以上の総走行距離を走ってくれました。この2台と入れ替わる形で新たに工事車2台、と営業車2台を導入しました。（内1台は関東営業所用）今後もエコドライブを心がけ、移動の際は乗り合わせることを全員に周知させていこうと思います。

（工事部 田中）

記録用ノート作成

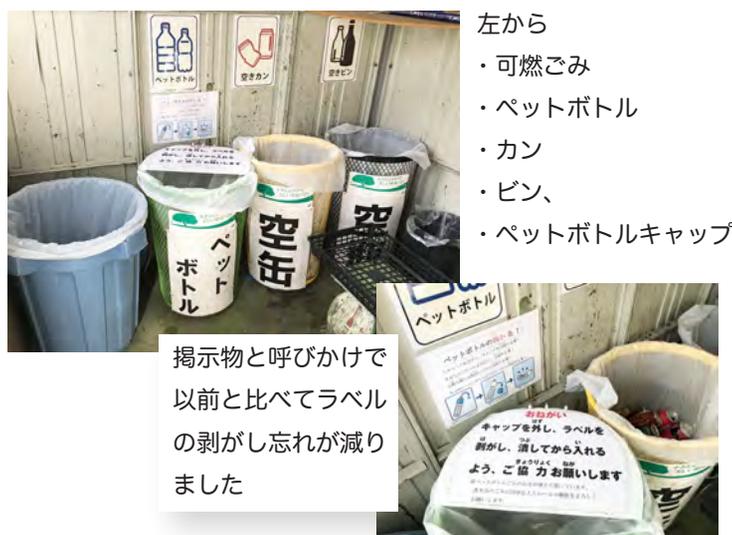
各車ごとに専用のノートを作成しました。毎月の走行距離を記録したり、車のちょっとした不備や違和感があればこのノートに記録・報告して事務所で対処するようにしています。他にも車の点検リスト、事故時の対応方法なども載せてあります。



廃棄物排出量の削減

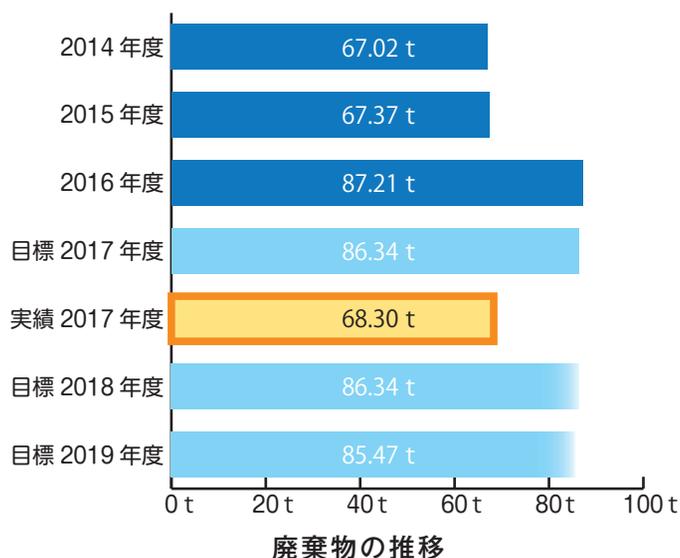
数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標583kg ⇒実績572kg 目標99% ⇒実績97%	
取組計画	達成状況
・分別の徹底（事務所・現場）	○
・シュレッダー廃紙のリサイクル化（事務所・現場）	○
・帳票見直しによる印刷物の削減（事務所）	○
・梱包材の再利用（事務所・現場）	○



数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標86 t ⇒実績68 t 目標99% ⇒実績78%	
取組計画	達成状況
・作業ミスによる廃棄量の削減（現場）	○
・分別状態の確認（事務所・現場）	○
・ゴミの圧縮（事務所・現場）	○



評価と次年度の取組内容

<一般廃棄物の削減>

社員の出勤数や出張先の廃棄物は含まれていないため、弁当のガラゴミなど自然と減少しました。夏場は熱中症対策として毎日水分が必要となるので、その分大量のペットボトル（資源ごみ）が発生しました。ペットボトルだけでも、70Lの袋でおおよそ3～5袋くらいはあります。今までペットボトルのラベルを剥がし、さらにキャップを外すところまでは完全に徹底されていないこともありましたが、呼びかけや掲示物により改善されてきました。分別により廃棄物は減らしていけるので、これからも分別ルールを徹底させていきます。

（営業部 神谷）

<混合廃棄物の削減>

防水や塗床改修工事は、現場で既存の床材や防水材を撤去し持ち帰ることで、やむを得ず廃材が発生します。そのため毎年工事の規模や数により左右される混合廃棄物ですが、今期は大幅に削減することができました。

昨年は廃材が特に発生しやすいマンション大規模改修とスーパー屋上駐車場防水改修が重なりましたが、今期はまんべんなく工事がこなせたことが一つの理由として挙げられます。

また現状、弊社の工事で発生する廃棄物の多くは廃プラスチックとして（たまに有価物として金属類）処理されることが多いですが、さらに金属以外にも細かく分類していくことを検討していきたいです。

（工事部 福山）

Reduce
リデュース
(減量)

Reuse
リユース
(再利用)

Recycle
リサイクル
(再資源化)

3Rの取り組み

事業外や事務作業で発生する廃棄物については、簡単に捨てないリユース、必要でないものは買わないリデュースに努めると同時に、カン、ビン、ペットボトルはもちろんのこと、ペットボトルキャップもリサイクルが可能な資源については規定に従った分類をしております。

古紙については第3日曜日までに地域の子どもの会のリサイクルに出せるようにまとめます。

また、廃棄物の分類も適切に行っております。事業上排出される合成樹脂やアスファルトルーフィングなどといった産業廃棄物や使用期限の切れた不良在庫の廃液については、適切な処理を行なっただけの収集運搬業者に委託し、その都度マニフェスト発行を義務付けております。

廃材を有価物に ～金属類の分別～

写真のように工事によって発生した金属系の撤去廃材については事務所に持ち帰った後、分別を行います。分別した金属は産業廃棄物ではなく有価物として売却を行っております。

今期は1年間に80,630円の売却益が発生しており、中でも屋上の室外機を引取ったものについては、7万近くの売却益が発生しました。

また、売却は不可であっても資源として引取りを行って貰える廃缶についても分別しています。金属売却益は、会社で行う行事の際に全額を社員に還元することが決定しており、社員の分別に対する意識、モチベーションの向上につながっております。



12月の工事でたくさんの室外機を引き取りました



事務所に帰ってから金属類を分別します



工事で発生した一斗缶は定期的にスクラップ業者に金属類の資源として引き取ってもらいます



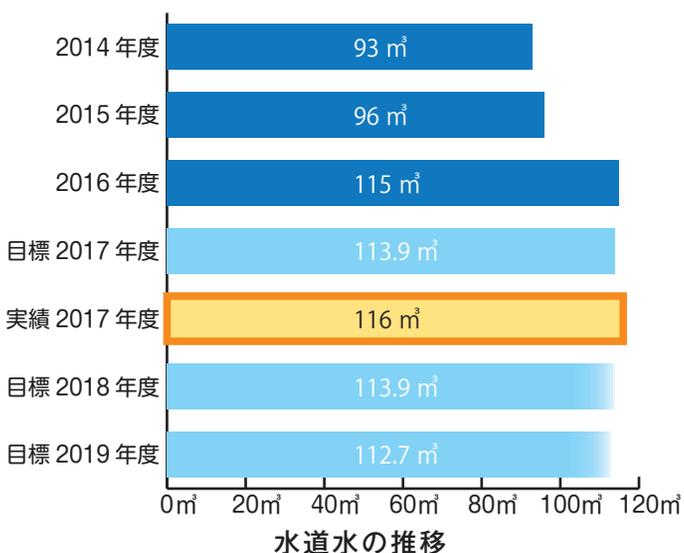
コンテナ周りはゴミが散らばりやすいのでこまめに清掃しています。



水道水の削減

数値目標：○達成 ×未達成
 活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標114m ³ ⇒実績116m ³ 目標99% ⇒実績101%	
取組計画	達成状況
・蛇口の締め忘れの確認（事務所・現場）	○
・節水シールの貼り付けとポスター掲示（事務所）	○



軍手を洗ってリユースしています

評価と 次年度の 取組内容

昨年度から水がぼたぼた出ていた1階の水道蛇口は+eco（プラスエコ）シリーズの蛇口に交換しました。お湯と水の切り替えがしやすくなり光熱費のムダはありません。

さらに、物を大切に使う目的で軍手を洗って再利用し始めました。軍手の使用量は抑えることが出来ましたが、それに伴い洗濯回数が増え、水道水使用量の増加に繋がってしまいました。

そして、社内の福利厚生として工事が利用する資材倉庫2階にも手洗い場を追加で設けたので、これも増加の原因と考えられます。

今後は食器を洗うときなど水を出す量を最低限の量にし、出しすぎに注意していきたいと思います。

（総務部 高寺）

軍手の再利用

現場で必ず使用する軍手ですが、一度ついた樹脂はなかなか取ることが出来ず、そのほとんどが廃棄物となってしまいます。

そこで、樹脂がほとんど付かず、洗濯すればまだ使用できる軍手を「再利用軍手ボックス」に入れるようにしました。総務部がこまめに洗濯してくれているので、次の人が気持ちよく使用することができ、軍手のムダ使いを削減することができました。事務所内でも清掃や花の手入れ、野菜の収穫時などにも大活躍してくれます。

PRTR物質使用量の削減

数値目標：○達成 ×未達成
 活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標4,801kg ⇒実績3,476kg 目標99% ⇒実績72%	
取組計画	達成状況
・有害性物質の表示の徹底（事務所）	◎
・容器の蓋の徹底（事務所）	◎
・作業ミスによる使用量増加の抑制（現場）	○
・代替物質の検討（現場）	○



引火性の高い液体



中枢神経系・腎臓・肝臓の
障害・生殖毒性



急性毒性
皮膚刺激性



評価と 次年度の 取組内容

材料そのものにはトルエンやキシレンなどの溶剤を含むものは少なくなり、PRTR物質の削減に繋がりました。溶剤を含まない材料を使用することで私たちはもちろん、近隣の住民様にも臭気を気にすることなく施工できるようになってきました。

ただ、刷毛やローラーなど一度使ったものを再利用（リユース）する為にはトルエン、アセトンなどのシンナーを使って樹脂を落とす必要があります。

さらに、工事の仕上がりを向上させる為には希釈剤としてこれらのシンナー類を材料に対して3%程度入れることがあるのも現状です。

2016年6月に化学物質のリスクアセスメントが義務化されたこともあり、これからは単純に使用量を削減させていくことも重要ですが、溶剤の種類ごとの有害性や取り扱う際の安全対策を最重要視していきたいと思います。

（工事部 田中）

化学物質のリスクアセスメントの義務化

2016年6月に労働安全衛生法が改正され、化学物質のリスクアセスメントが義務化されました。弊社では倉庫に現在保管されている材料のSDSを入手し、さらには材料ラベルに表示されている危険有害性情報、救急措置、取扱い上の注意、保管方法などを新人教育の一環として、今年入社の方3名にまとめてもらい、社内で周知しました。

これらのまとめた情報を利用して、今後作業手順を変更する際や、リスクアセスメントを実施して安全施工に努めていきます。

グリーン購入

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
数値目標36%⇒実績54%	
取組計画	達成状況
・有害性の少ない資材の購入	○
・省エネ性能の高い電気製品の購入（事務所）	◎
・燃費のよい自動車の採用（事務所・現場）	○
・事務用品グリーン購入比率向上（事務所）	◎



弊社の作業着は製品全体（ボタンなどを除く）に対してペットボトルをリサイクルしてできた合成繊維が50%以上使用されています。

グリーン購入法適合商品

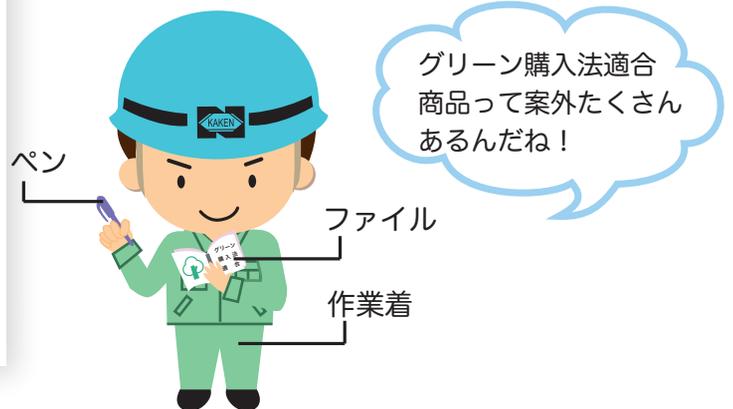


評価と次年度の取組内容

封筒、コピー用紙、ファイルなどの事務用品は継続してグリーン購入法適合の商品です。現場で必要だったホワイトボードもグリーン購入法に適合していました。

事務所の文具、消耗品は購入するときはグリーン購入法適合の商品であることを確認してから購入しています。また年に2回支給されている作業服も、継続して再生PET繊維50%以上のエコマーク製品を購入しています。

今後は作業着のように現場で使用するものについてもグリーン調達できるよう確認していきたいです。
(営業部 神谷)



社会貢献

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組計画	達成状況
・地域の環境活動に積極的に参加（事務所・現場）	○



ダンボールはごみ小屋に保管し、定期的にヒモで縛ってまとめます。



古紙回収で地域子ども会への活動協力

古紙、ダンボール、コピー用紙は分別を行い、毎月第3日曜日に地域の子ども会に譲渡しています。

会社の業務以外にも地域の小学校が開催する「ふるさと祭り」への協賛寄付、会社の周りの雑草手入れや荒れた竹藪を整備するボランティアも行っております。

今後も少しでも近隣住民の方々のためになるよう、地域で行なっている資源ごみの回収や清掃活動などには積極的に参加していきます。

工事施工上の環境配慮

評価と 次年度の 取組内容

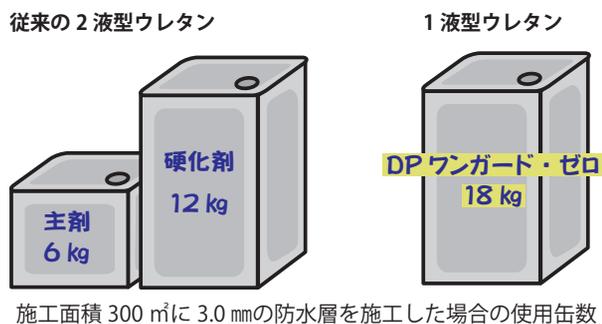
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 実 績	
環境対応型防水材「ワンガード・ゼロ」使用量 目標67,448kg ⇒実績57,276kg	
取 組 計 画	
・ 環境への負荷を軽減した工事（現場）	○
・ 材料を入れる18L缶はリサイクル缶を使用（現場）	◎
・ 屋根の塗装、屋上防水トップは遮熱塗料を薦める（現場）	◎
・ 水性材料の採用（現場）	○

昨年のウレタン使用量（66,780 kg）には及ばなかったものの、環境対応型防水材「DP ワンガード・ゼロ」で約 5 万 7000 kg分の施工が出来ました。来期も環境施工に努め、今ある建物を大切に守れる工事をさらに提供できるよう努力していきます。

ここがエコ

容器の排出量削減（リデュース）



DP ワンガード・ゼロとは？

弊社が現在防水工事で一番多く扱っているウレタン防水材です。ウレタン防水材といいますと、以前は“主剤”と“硬化剤”が別々の缶に入れられたものを混合させて使用する2液型が一般的でしたが、新環境対応型1液型ウレタン塗膜防水材「DP ワンガード・ゼロ」（ディックプルーフィング株式会社）は1缶のみで材料攪拌の必要がありません。攪拌機の電力削減と労力の削減、さらには空き缶の排出量削減（リデュース）につながっております。

一度はがしてリユース
もう一度使えばリサイクル

Reduce
リデュース
(減量)

Reuse
リユース
(再利用)

Recycle
リサイクル
(再資源化)

材料がはがせるラミネート缶

1液型ウレタン防水材が入れている缶は、内部に特殊なコーティングがなされているラミネート缶です。写真のように缶内部で硬化したウレタン防水材は缶表面に強固に付着することなく、綺麗に剥がし取ることが可能となっております。

これにより、これまでは潰してリサイクル処理していた缶も、現場でリユース（再利用）して洗い缶、練り缶などとして役立てています。

- ☑ TXフリー。有機溶剤「トルエン」「キシレン」等を使用していません。
- ☑ 「シックハウス症候群」を引き起こす原因とされる14の有害物質を使用していません。
- ☑ ホルムアルデヒド放散等級「F☆☆☆☆」を取得しています。
- ☑ 特定化学物質を含んでいません。



キレイでスピーディ！
工事の質も向上されます



床面剥がし機 ブロンコ

作業効率が
アップしました



パワーゲートの取り付け

床面剥がし機導入にあたってトラックにパワーゲートを取り付けました。機械以外にも重量のある材料の積み下ろし作業に活躍してくれます。

職場の環境改善に繋がりました

- 荷物の積み降ろしが楽になり作業員の負担を軽減
- 今まで複数人で行っていた作業が1人で行えるので人員削減につながる
- 重量物や危険物の積み降ろしを安全に行える
- 荷物の積み降ろしに必要となる時間を大幅カットできる

Before



ペッカー

下地処理といえば
この作業がいつも
とーっても
大変でした…



ハンディタイプのはつり機

下地処理 床面剥がし機 導入

防水改修工事は、まず既存防水の撤去作業が必要です。これまでは小型電動機を使用して少しずつ剥がしていましたが、今期から新型搭乗式の床面剥がし機の導入を始めました。

この機械を導入することで、これまで剥がすのが困難だった各種防水材（アスファルト、ウレタン等）、塗床（ウレタン、エポキシ等）さまざまな床材をスピーディに剥がすことが可能となりました。その機械効率は小型電動機と比較しても10倍以上の差があり、大幅な作業効率アップとコストダウン、さらには仕上がりの向上につながっています。

- ① 手押し式の従来工法に比べ、およそ10倍以上の作業効率が得られるので、大幅なコストダウンが可能。（能力：ターミネーターの1.3倍～1.5倍）
- ② 剥離作業が比較的簡単な床材だけでなく、ウレタンや床材、セラミックタイル等、難易度が高い床材の剥離作業も可能。

環境関連法規等の遵守状況確認 および評価ならびに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	摘要される事項（施設・物質・事業活動）
消防法	各種溶剤の保管
化学物質排出把握管理促進法	各種溶剤の使用（報告義務対象外）
騒音規制法	該当なし
振動規制法	該当なし
廃棄物処理法	一般廃棄物（事務所から出る紙くず、繊維くず、木くず、生ゴミ等） 産業廃棄物（工事に伴う金属類、廃プラ類、廃油、紙くず、木くず等）
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める。
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機
その他・顧客要求事項	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の営業中の施工配慮。一週間ごとの分割施工等。 ・材料の搬入搬出の時間制限。 ・施工中に扱う化学物質の臭気対策。 ・工期厳守

確認および評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

外部からの苦情

これまでに苦情はありませんでした。

生物多様性の保全活動

無農薬有機栽培野菜

弊社が栽培管理している畑では今年も無農薬の有機野菜がたくさん収穫されました。有機肥料による無農薬栽培は自然の甘みがあり、身体に良い野菜を作ります。

弊社社長、実は農家出身なのです。元々ものづくりに興味があり、今でも野菜を栽培しています。畑は1年中さまざまな野菜の収穫があり、その数は年間で20種類近くに及びます。野菜の出来栄は毎年どれも本格的です。育った野菜は社員が収穫し、持ち帰っています。

社長の趣味から高じ始まった活動ですが、生物多様性の取り組み活動として社員が全員で共に楽しみながらできる活動の一つなので、今後も継続させていこうと考えています。

社長の指導のもと
収穫中です



キュウリ



夏野菜の収穫

夏はトマト、ナス、ピーマン、ゴーヤなど収穫しました。今年はトマトが豊作で一度に4カゴとミニトマトが2カゴ採れた日もありました。また、事務所窓面で育てたゴーヤもたくさん収穫できました。

夏野菜こんなに採れました



ミニトマト



ピーマン



グリーンカーテンのゴーヤも収穫しました



2階窓から



ナス

春野菜の収穫

春野菜は玉ねぎ、芽キャベツ、スナップエンドウ、オクラ、ブロッコリーなど収穫しました。

4月から新入社員が入社してくれたこともあり、初めて収穫を手伝ってもらいました。野菜の収穫は2人とも初めてだったので、玉ねぎを引き抜く作業は新鮮で楽しんでくれたようです。

新入社員初めての
玉ねぎ収穫です



ブロッコリー



スナップエンドウ



玉ねぎ

秋冬野菜の収穫

秋冬は大根、かぶ、ほうれんそう、キャベツ、白菜、水菜、ネギなど収穫しました。

特に大根はそのまま食べてもみずみずしく甘みがあり、食べやすかったです。ずっしりとした重さと大きさがあり、家まで持ち帰るのに一苦労しましたが、とても美味しくいただきました♪



大根

ほうれんそうを
収穫しています



水菜



ネギ

緑化活動 花の育成と植樹祭の参加

総務部を中心に事務所の花壇で花を育てています。咲いた花は玄関などに飾ると来客の方から目を留めていただく機会が増え、社員一同嬉しく思っています。

花を飾ると部屋がぱっと明るくなります。事務所で毎日パソコン作業をしている合間に花を見るとさらに癒されます。

また、花以外にもバジル、パセリ、ルッコラ、パクチーなどのハーブも一緒に育てています。お昼ご飯のトッピングとして使用するなど、育てる楽しみといただく喜びの両方を味わっています。

来年に向けての花を
植えています
綺麗に咲きますように…



にしおかかけん はなずかん



スイセン

花期が3月～4月ということで、春を告げる草花として古くから親しまれています。球根に毒性があるので畑などの近くに植えないように注意します。



シバザクラ

地面を覆いつくすように密生し、土の流失も防ぐ効果があります。茎はシバのように広がり、サクラに似たかわいい花を咲かせます。



チューリップ

11月に植えた球根が見事に咲きました。春の花の中でも一番色とりどりに咲いてくれたので順番に毎日咲くのが楽しみです。



バジル

日当たりのよい場所で育てますが、強い日光は葉焼けを起こすことがあるので、夏の西日や直射日光は避けるようにしましょう。



ヒマワリ

キク科の一年草で、花期は6月～8月。黄色やオレンジ、茶色の明るい大輪の花を咲かせます。日光が大好きなので日当たりのよい場所に置いて育てます。事務所玄関前の花壇で育てました。



ムスカリ

草丈15cmくらいで葡萄のような花を咲かせます。とても耐寒性の強い花で、こぼれ種や自然分球で増え、毎年自然に花が咲きます。

すくすく育つよう願いをこめて
プレートをつけました



環境部会 植樹祭の参加

第7回目の植樹祭に
参加しました
毎年参加してます！



はじめての植樹活動



植樹できました
お疲れ様です！



植樹を終えて毎年恒例の集合写真

2017年3月25日(土) 第7回植樹祭が開催されました。
弊社が所属している大阪府中小企業家同友会の環境部会では、毎年大阪の緑化活動として植樹祭を行なっております。毎年この活動に参加し、今回で第7回目を迎えました。

今年は近鉄久宝寺口駅から徒歩4分の場所にあります「命の輝き共生の森」(大阪府八尾市)でシイの木、カシの木、タブノキ、サルスベリ、サカキなど70本の苗木を植樹しました。当日は天候にも恵まれ、植樹日和となりました。



第6回目の参加(2016年)



第5回目の参加(2015年)

駐車場・ビル屋上・マンションベランダ・屋根・戸建住宅など

特定~~化学~~物質 ~~臭気~~
有害~~物質~~

新環境対応型 防水



Before

ノンスチレン樹脂で作業環境が改善されました

FRP防水材の原材料にスチレンモノマーを含まない“ノンスチレン防水研究集団「DPCノンスチ研究会」を材料メーカーのディックブルーフィング株式会社が2016年3月に設立しました。初代会長職は弊社代表の西岡勝男が就任しています。今年も防水業界に先駆けて弊社ではノンスチレン樹脂によるFRP防水工事を大型ショッピングセンターの屋上で施工しました。 ※スチレンはFRP防水材の原材料に含まれる物質で2014年11月に特定化学物質に指定されました



福井県ショッピングセンター屋上駐車場防水 2017年9月施工
ノンスチレン樹脂施工

After



ノンスチレン樹脂「コロテクト NEO」は特定化学物質であるスチレンを含まないので、これまでのFRP防水工法と違い、臭気が大幅に削減されました。近隣の方々や、施工する私たちにとっても健康管理、安全管理の面で改善されました。

コロテクト NEO 施工中



Before

TXフリーで作業環境が改善されました

特定化学物質はもちろん、有害物質や臭気の発生しない新環境対応型ウレタン「DPワングード・ゼロ」を使用しております。工事の際に作業員や近隣の方がめまい・頭痛の等引き起こすといった心配もなくなりました。居住環境、作業環境、地球環境と全ての環境にやさしい防水材でこれからも環境施工に努めます。



After



「DPワングード・ゼロ」についてはP14もご覧ください

DPワングード・ゼロ 施工中

床の環境改善なら西岡化建におまかせください



Before



拡大図

ポロポロ剥がれてくる塗膜の清掃が大変です
平日は仕事が稼働するので工期が取れないし…



デオフロア 施工中

工事部の職人が下地処理
→不陸調整→下塗り→骨材散布→上塗りの工程で
全て仕上げました。



After

水産加工工場 通路 塗床工事 2017年9月施工
マッスルフロア工業会 デオフロア 防滑仕上

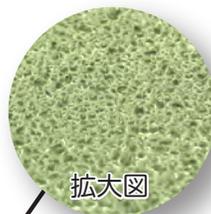
職場の環境改善に繋がりました

- 水でサッと流すか掃き掃除だけで
きれいになり、清掃がラクラク
- 休日の間に工事が完了しました
- 滑りにくく安全な床に
- メンテナンスコストも抑えられました



Before

フライを揚げたりするのに油を扱うので滑りやすくてとっても危険
店舗は年中無休なのでいつメンテナンスすれば良いやら…



拡大図

塗床工事のことなら私にお任せあれ！
ぬりゆかれいこ
塗床 麗子



職場の環境改善に繋がりました

- 低臭材料で食品に臭い移りが無く安心
- 滑りにくく安全な床に
- 立ち作業が疲れにくくなりました
- 水でサッと流すだけでお清掃ラクラク
- 営業終了後からたった一晩で工事が完了したので翌朝支障なく営業できました



After

スーパーマーケット 惣菜調理場 塗床工事 2017年9月施工
マッスルフロア工業会 デオフロア低臭 防滑仕上

社内カイゼンプロジェクト

茨木事業所の屋根を塗装遮熱しました



Before



施工中

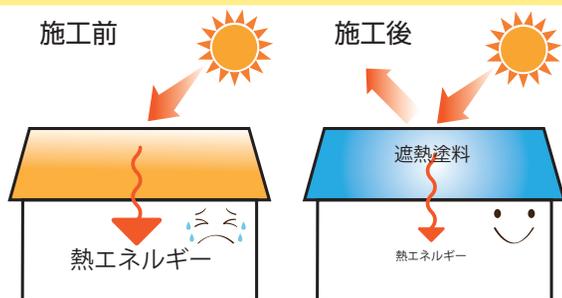


茨木事業所 事務所屋根 遮熱塗装 2017年4月施工
ミツベ サーモアイネガード (クールホワイト) 日射反射率91%

After

ここがエコ

電力の総使用量の削減・電力ピーク時の電力削減



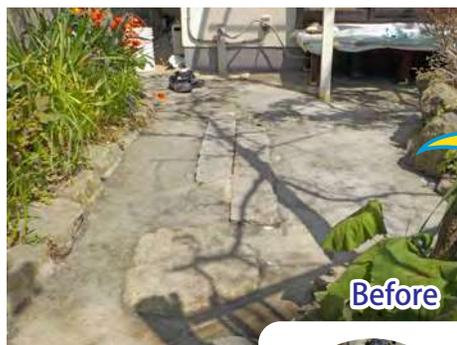
遮熱塗装で太陽光による室内の温度上昇防止

工場や倉庫等の屋根に採用している遮熱塗料を今年4月、弊社の事務所屋根と資材倉庫屋根に塗装しました。今回使用したのは太陽熱高反射塗料サーモアイネガード(日本ペイント株式会社)です。毎年夏場になると室内の気温が急激に上昇していましたが、遮熱塗装をしたことにより例年より室内の温度上昇を約2~3℃抑えられました。

施工の手順は、ケレン・高圧洗浄で清掃を行った後、プライマー塗布→サーモアイ塗布(1回目)→サーモアイ塗布(2回目)の3工程で塗装しました。

<遮熱塗装を施工してみても>

新人研修の一環として施工に参加しました。サーモアイを事務所屋根に塗っているときは、本当に効果があるのかと疑いましたが、塗り終え夏を迎えて効果が実感できました。電気使用量も削減できるので環境にも良いものだと感じました。先輩社員からも温度が涼しくなったと好評です。(営業部 山登(新入社員))



Before



施工中



本社庭通路 透水性舗装 2017年4月施工
アートロードNU

After

水たまりが
無くなり
快適に♪



拡大図

意匠性・透水性に優れた景観舗装

本社庭通路に透水性舗装を施工しました。天然石を使用しているため、自然と調和した風格のある仕上がりを長時間保つことが可能です。施工してから水溜りが出来にくくなり、雑草も生えなくなりました。意匠性にも優れているので公園、エントランス、店舗などにもオススメです。

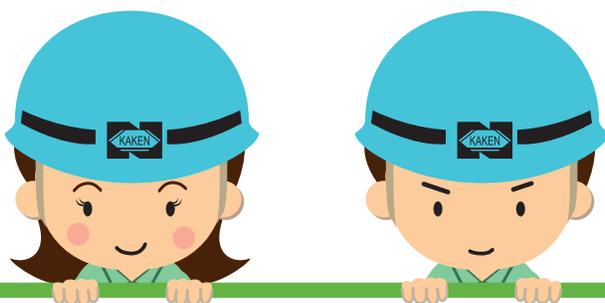
代表者による全体の評価と見直し

社会的な経済動向要因として、今期については非常に厳しいアゲインストの風が吹いたと思える一年でした。中小企業の経済活動は少しの要因があっても、大きく揺さぶられ影響します。設立39期の決算期間においては、2年後に予定している事業承継に向けて、いかに組織の確立と仕事の仕組み作りを具現化していくことがテーマでした。外的要因に惑わされることなく自社経営活動の安定と成長を目指し、環境理念に掲げる「本業を通じて環境経営に取り組めること」に努力を続けていきたいと思えます。

重要なことは環境経営の継続と社員の育成であると思っています。地球環境保全に繋がる活動とはどのような種類があるのか、将来において弊社として実践できる可能性があるのはどんな取り組みかということ社内全員で学習する機会を作ります。設備費をかけて太陽光発電を取り入れるなども検討してきましたが、顧客からの受注現場で防水層改修を引き受けるに留まり、自社での設備設置には至りませんでした。

日常の現場では生産性の向上のため、使用材料の適正やクレームを起こさないための技術指導を重ねてきました。身近な問題では、毎月開催の技術部研修会において、従来から使用する材料に付き、正確なメーカー仕様書をもとに㎡あたりの使用量の計算をし、その計算手順を解説しています。主剤、補助材料の配合比の確認により硬化不良廃棄や残存材料の無駄をなくすことです。また技術マニュアルの共有と技術資格の取得者を増やすため資格取得支援制度を取り入れてきました。その教育手順をきちんと成文化し社内教材として配布、それらを毎年内容確認し、取り組みを増やしていくことにより、プロ技術集団として成長していきたいと思えます。





化学で変わる **建**設の未来
Chemistry and Construction

 **西岡化建株式会社**

本 社 〒567-0072
大阪府茨木市郡5丁目21番16号
TEL: 072-643-1125 FAX: 072-643-1127

関東営業所 〒226-0017
神奈川県横浜市緑区新治町543-1 101号
TEL: 045-500-9016 FAX: 045-500-9019
E-mail: info@nishiokakaken.com
URL: <http://www.nishiokakaken.com>

